

【糸魚川総合病院】



1. 役割・方向性・キャッチフレーズ

グランドデザインにおける目指すべき類型	地域包括ケアシステムを支える医療機関 [救急拠点型]
グランドデザインを踏まえた役割・方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一次・二次救急&amp;一部急性期&amp;回復期の医療提供(三次：富山大学や県立中央病院と連携)</li> <li>○ 糸魚川市の基幹的な病院として高齢化の地域を支えるため在宅療養支援病院を目指す</li> </ul>
病院活性化 キャッチフレーズ	未来に向けた意識改革と4項目（経営改善、働き方改革、地域医療構想、在宅医療）の推進

2. 病床数

現状 (R6. 1. 1 現在)				令和8年度時点		
病棟名	病床数	機能	入院料	病床数	機能	入院料
1 病棟	56	急性期	一般入院 2	49	急性期	一般入院 2
2 病棟	47	回復期	地包ケア 2	47	回復期	地包ケア 1
3 病棟	57	急性期	一般入院 2	54	急性期	一般入院 2
4 病棟	52	急性期	一般入院 2	49	急性期・回復期	一般入院 2 地包ケア 1
5 病棟	49	慢性期	障害入院 10 : 1			
合計	261			199		

3. 入院機能の方向性

- 地域包括ケアシステムを支える医療機関として、急性期及び回復期医療に医療資源を集中します。

4. 外来機能の方向性

- 一次・二次救急、市内開業医が少ないことへの補完としてかかりつけ医機能、透析を維持します。

5. 高度・専門的な治療（脳卒中・急性心筋梗塞等）・手術機能

- 脳卒中の血栓溶解療法、急性心筋梗塞の心カテ治療は日数を制限して施行します。
- 膵臓癌・胆道癌治療を推進します。
- 消化器癌治療、眼科、産婦人科は地域医療構想完了まで継続します。整形外科と良性疾患手術は地域医療構想完了後も継続します。

6. 在宅医療への対応

糸魚川市の基幹的な病院として、また地域包括ケアシステムを支える病院として、高齢化の進む地域を支えるため、地域の医療機関と連携しての在宅療養後方支援病院から在宅療養支援病院への役割の変更を検討します。